

令和5年度

しあわせの里福祉会事業報告

社会福祉法人
しあわせの里福祉会

目 次

○ 社会福祉法人しあわせの里福祉会の事業概要	1
○ 障害者支援施設しあわせの里の事業概要	3
I 利用者の方の状況	3
II 利用者の方に対する支援と活動	6
1. 生活介護（日中活動支援）	6
(1) 日 課	6
(2) 食事及び入浴	6
(3) 日 中 活 動	7
(4) 文化・サークル活動	11
2. 施設入所支援（夜間・休日支援）	15
(1) 日 課	15
(2) ゆとりある生活のための支援	16
(3) 社会性を広げるための支援	16
3. 健康管理と保健活動	17
4. 栄養管理と食生活	19
5. 地 域 交 流	21
6. 危機管理と防災対策	22
7. 保護者との連携	23
III 職員の資質向上と職員研修	24
IV 短期入所事業利用者に対する支援と活動	24
V 地域生活支援事業（日中一時支援事業）	24
○ しあわせの里地域交流センターの事業概要	25

社会福祉法人 しあわせの里福祉会の事業概要

法人認可年月日	昭和56年	6月16日
法人設立年月日	昭和56年	6月26日
施設開設年月日	昭和57年	4月1日
重度棟増設年月日	昭和59年	4月1日
地域交流センター開設年月日	平成5年	4月1日

1、役員及び評議員の構成

理事長	手塚 任	理事	山本 菊太郎
理事	平岡 芳和	理事	石川 好文
理事	楠 博孝	理事	近藤 則行
理事	前田 良夫		
監事	好岡 繁	監事	小倉 眞穂
評議員	廣田 正則	評議員	野口 泰延
評議員	東山 敏雄	評議員	福永 育史
評議員	坂東 良子	評議員	藤川 昇
評議員	永井 多美子	評議員	高橋 千賀子

2、理事会の開催状況

開催年月日	開催場所	出席者	審議事項
5. 6. 1	しあわせの里 地域交流センター	理事5名 監事1名	1) 令和4年度事業報告、計算書類・附属明細書及び 財産目録の承認について 2) 理事・監事候補者の推薦（案）について 3) 定時評議員会の開催について
5. 6. 19	しあわせの里 地域交流センター	理事5名 監事2名	1) 理事長の選定について 2) 業務執行理事の選定について
5. 12. 18	しあわせの里 地域交流センター	理事6名 監事2名	1) 令和5年度収支補正予算（案）の承認について
6. 3. 22	しあわせの里 地域交流センター	理事7名 監事2名	1) 令和5年度収支補正予算（案）の承認について 2) 令和6年度事業計画（案）の承認について 3) 令和6年度収支予算（案）の承認について 4) 施設管理規定の一部改正について 5) 運営規定の一部改正について

3、評議員会の開催状況

開催年月日	開催場所	出席数	審 議 事 項
5. 6. 19	しあわせの里 地域交流センター	7名	1) 令和4年度事業報告、計算書類・附属明細書及び財産目録の承認について 2) 理事・監事の選定について

4、従事した職員数

施設長	サービス管理責任者	支援員	看護師	事務員	栄養士	パート職員	協力医	計
1名	3名(兼務)	23名	1名	2名(兼務)	1名	6名	1名	35名

5、令和5年度事業実績

(1) 社会福祉法人の事業充実に向けて

地域のニーズに対する取り組みを強化し、施設の役割や社会貢献が果たせるように努めました。

(2) 利用者サービスの充実に向けて

利用者の方の高齢化や、特性に対応した生活環境の整備に取り組み、安全対策等のリスクマネジメントに努めました。

人権尊重、権利擁護を第一義として支援にあたり、その人らしい暮らしができるように意思決定支援を進めました。

(3) 人材確保と人材育成

ハラスメント研修やメンタルヘルス対策を充実させ、働きやすい環境を整備し、職員が定着できる職場をめざしました。

職場内外の研修への参加や、資格取得支援を進めることにより、福祉職員としての資質の向上と責任ある人材育成を進めました。

(4) 危機管理体制の強化

大地震や異常気象による災害や感染症のリスクに備え、BCP(事業継続計画)の周知・訓練検証を行いました。

6、苦情解決体制

苦情解決責任者	前 田 良 夫	(しあわせの里施設長)
苦情受付担当者	板 東 真 里	(しあわせの里支援係長)
第 三 者 委 員	好 岡 繁	(しあわせの里福祉社会監事)
第 三 者 委 員	小 倉 眞 穂	(しあわせの里福祉社会監事)

今年度は、家族からの苦情はありませんでした。

その他、利用者ご本人と保護者の方々からの相談や要望には迅速かつ誠実に対応してまいります。

障害者支援施設しあわせの里の事業概要

I 利用者の方の状況

在園者数は令和6年3月末現在、施設入所支援を伴う生活介護を利用している方は50名（男性34名、女性16名）、生活介護を単独利用している方は5名（男性4名、女性1名）となっています。そのうち1名の方が他の事業所の生活介護を併せて利用しており、利用に際して保護様との連絡調整や、事業所間の連携が必須となっています。

市町村別状況については、6市4町に及んでいます。各市町村との緊密な連携及び連絡・調整が欠かせないものとなっています。

※以下の表内における種別に関して、施設入所支援を伴う生活介護は「施+生」と、生活介護単独は「生活」と表記します。

○ 市町村別入（通）所者状況

種別	市町 性別	市町村										合計
		徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	吉野川市	阿波市	藍住町	板野町	石井町	那賀町	
施+生	男性	13	7	2	2	1	2	3	1	2	1	34
	女性	4	3	0	3	1	1	1	2	1	0	16
	計	17	10	2	5	2	3	4	3	3	1	50
生活	男性	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	4
	女性	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	0	1	0	1	0	0	3	0	0	0	5
合計		17	11	2	6	2	3	7	3	3	1	55

施設入所支援を伴う生活介護利用者の方の平均年齢は、男性 55 歳、女性 56 歳で女性が男性より平均年齢が上回っています。50 歳以上の方が 37 名おり（26 名が男性、11 名が女性）、そのうちの男性 7 名、女性 5 名は還暦を過ぎ、高齢者に対する配慮や支援方法等にも工夫が求められています。

○年齢状況

種別	年齢 性別	18歳	26歳	31歳	36歳	41歳	46歳	51歳	56歳	61歳	66歳	合計	平均
		25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳			
施 + 生	男性	0	3	0	0	2	5	5	12	4	3	34	55
	女性	0	1	2	0	1	1	3	3	1	4	16	56
	計	0	4	2	0	3	6	8	15	5	7	50	54
生 活	男性	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	4	39
	女性	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	37
	計	0	2	0	1	0	1	1	0	0	0	5	34
合計		0	6	2	1	3	7	9	15	5	7	55	

施 + 生	最低年齢		最高年齢	
	男性	26歳	男性	75歳
	女性	27歳	女性	79歳

生 活	最低年齢		最高年齢	
	男性	28歳	男性	53歳
	女性	37歳	女性	37歳

施設入所支援を伴う生活介護利用者の方については、療育手帳の等級は、(A-49名・B-1名)となっています。また、50名全員が20歳を超えており障害基礎年金を受給しています。1級-48名(男性33名、女性15名)、2級-2名(男性1名、女性1名)です。

生活介護単独利用者の方の療育手帳の等級は5名(男性4名、女性1名)全員がAとなっています。障害基礎年金は5名(男性4名、女性1名)が1級を受給しています。

知的障害だけでなく、複数障害を合併している方が多数おられます。身体障害者手帳を交付されているのは、施設入所支援を伴う生活介護利用者の方については5名(男性5名)です。生活介護単独利用者の方で、現在は身体障害者手帳を交付されている方はおられません。

○障害の特徴

種別	内容 性別	肢体不自由	自閉性障害	統合失調症	視力障害	聴力障害	てんかん	ダウン症	代謝障害	脳性マヒ	直腸機能障害	脳炎後遺症	合計
		入所部	男性	4	15	1	4	1	14	2	1	3	
	女性	1	7	1	2	1	7	1	0	1	0	0	21
	計	5	22	2	6	2	21	3	1	4	1	0	67
通所部	男性	0	3	0	0	0	4	0	0	0	0	1	8
	女性	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	計	0	3	0	0	0	4	1	0	0	0	1	9
合計		5	25	2	6	2	25	4	1	4	1	1	76

在園期間状況は、施設入所支援を伴う生活介護利用者の方で、20年以上の者(開園当初からの利用者)が38名(76.5%)、生活介護単独利用者の方では20年以上の者が2名(40.4%)になっています。

○在園期間状況

種 別	在園 期間 性別	在園期間					20年 以上	合 計
		3年 未満	3年 ～ 5年 未満	5年 ～ 10年 未満	10年 ～ 15年 未満	15年 ～ 20年 未満		
施 + 生	男 性	1	1	1	1	2	27	34
	女 性	1	0	1	2	2	11	16
	計	2	1	2	3	4	38	50
生 活	男 性	0	1	0	1	0	2	4
	女 性	0	1	0	0	0	0	1
	計	0	2	0	1	0	2	5
合 計		2	3	2	4	4	40	55

利用前状況は、施設入所支援を伴う生活介護利用者の方、生活介護単独利用者の方ともに支援学校を卒業して利用するケースが多いようです。

○利用前状況

種 別	前状況 性別	利用前状況						合 計
		家 庭	支 援 学 校	入 所 支 援 施 設	通 所 支 援 施 設	入 所 児 童 施 設	そ の 他	
施 + 生	男 性	1	10	7	8	8	0	34
	女 性	5	3	0	1	4	3	16
	計	6	13	7	9	12	3	50
生 活	男 性	1	1	0	2	0	0	4
	女 性	1	0	0	0	0	0	1
	計	2	1	0	2	0	0	5
合 計		8	14	7	11	12	3	55

Ⅱ 利用者の方に対する支援と活動

人権尊重と権利擁護を支援の基本に位置付け、利用者の方の主体性や意思を最大限尊重し、その人らしい暮らしができるよう利用者の方の目線や立場に立った継続性と一貫性のある支援と長期的な展望を見据えた支援を行いました。

利用者の方の人権に対する意識を強化するため、虐待に関する自己チェックを定期的実施し、利用者の方の意見や要望を反映したサービスを提供しました。

新型コロナウイルス感染症の対策を行いつつ、自粛傾向にあった園外活動を再開し楽しみを持って生活が送れるように支援しました。高齢の利用者の方に対しては身体機能を維持するため理学療法を用いた機能訓練を提供しました。

1. 生活介護(日中活動支援)

利用者の方が心身ともに健康で、より豊かな生活が送れるよう支援マニュアルに基づき本人の個性に適したサービスの提供に努めました。また、利用者の方の障害特性を踏まえ、創作活動、生産活動を提供しました。文化・サークル活動は、新型コロナウイルス感染症の収束により、実施回数を増やすことができました。自粛傾向にあった園内外の行事は感染症対策を行いながら実施することで、少しずつではあるが感染症流行前の状態に戻ってきています。今後も地域住民との交流機会や地域社会との関係を維持できるように努めていきます。

(1) 日課

〈月曜日～金曜日〉

	9:00	9:45	12:00	13:15	16:30	
	登 所	ティ ー タ イ ム 活 動	昼 食 ・ 休 憩	ティ ー タ イ ム 活 動	(入 浴)	退 所

(2) 食事及び入浴

食事の際は、感染症対策を行いながら一人ひとりがゆっくりと安全に食事が出来る環境を提供しました。集団での食事が苦手な方に対しては居室まで配膳し、食事に集中してもらえるように支援しました。入浴については、入浴場所やメンバーを都度見直し、安全に入浴が出来るよう努めました。

○バイキング

利用者の方の嗜好調査に基づき、希望に添ったメニューを中心に取り入れました。月1回、メイン料理からデザートまで数ある中から選択する楽しい食事になっており、心待ちにされています。

○Aランチ

特別な支援や配慮を要する利用者の方を対象に、男子職員1名と必要に応じた食事支援を行っています。また、対象となる利用者の方を定期的に見直し、より充実した食事支援を行っています。

○平日の昼食

少人数でゆっくりと食事がとれるように昼食時間に幅を持たせています。自分のペースで食事が摂れ、ゆとりを持って行えています。また、それぞれ昼食時間になると各自が判断して自主的に待機できる利用者の方が増えています。

(3) 日中活動

利用者の方の障害特性に合った活動場に所属してもらい、目標を持って活動に取り組めるような支援を行いました。

今年度も6グループに分かれて活動し、グループ毎に特性に合った生産活動や創作活動を行いました。生産活動では利用者個々の能力や特技を活かした作品作りを行い、バザーや道の駅等で商品販売を行いました。創作活動では高齢化による筋力低下を防ぐ運動や、理学療法士によるリハビリを行い、心身ともに健康に過ごせるよう取り組みました。

◎手工芸

今年度は、園内バザーを行い利用者や保護者の方に作品を販売し、たくさん購入していただきました。作品は、「夢工房」「道の駅第九の里」で委託販売を行いました。

販売状況は以下の通りです。

委託先・その他	主な作品	売れ筋
夢工房	・刺し子（ポーチ、ミニ巾着、手さげ、リュック等） ・アクリルタワシ等	刺し子の手さげ、リュック
道の駅「第九の里」	・刺し子（巾着、手さげ、ポーチ、リュック） ・アクリルタワシ	アクリルタワシ、手さげ
徳島市障害者福祉展	・刺し子（手さげ、ポーチ、巾着、等） ・縫製作品（手さげ、巾着等） ・アクリルタワシ	刺し子の手さげ 縫製作品（手さげ、巾着）

参加者	男性1名 女性7名
支援内容及びプログラム	<p>(1) 刺し子（手さげ、巾着、ポーチ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生成りの生地を取り入れ色糸の種類を増やす。 ・図柄に合わせた糸を選び刺す。 ・丁寧に刺す。 <p>(2) 刺しゅう（ポーチ、のれん、レッスンバッグ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図柄を描く。 ・刺しゅう糸を選ぶ。 ・丁寧に刺す。 <p>(3) 編み物（アクリルタワシ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編み目を作る。 ・丁寧に編む。 <p>(4) ビーズのれん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな色のビーズを選ぶ。
評価	<p>新型コロナウイルスの行動制限が緩和され、バザーが再開された。バザーに向けて刺し子や刺しゅう、編み物などの作品作りに取り組むたくさん手に取ってもらえた。</p> <p>刺し子ばかりでなく、時々刺しゅうを行うことで気分転換となり丁寧に作品を仕上げることができた。</p>

◎ 造花

造花は「ちぎり」、「組み立て」、「確認作業」を行っています。

「ちぎり」は、造花材料となるパーツと、バリの部分に分けてちぎっています。「組み立て」は葉や花びら、軸など、それぞれの部品の連結部を見本と同じになるように挿しこんでいきます。「確認作業」は「ちぎり」や「組み立て」が正確に仕上げられているか、不良品や汚れ、ゴミが混ざっていないか確認していきます。材料の大きさや材質により全工程に参加できる利用者の方は少ないですが、それぞれが分担し自分のできる工程に参加しました。

参加者	男性4名、女性1名
支援内容及びプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ○ちぎり作業 <ul style="list-style-type: none"> ・製品とちぎりカスに分けて正確にちぎる。 ・ちぎり残しやカスが混じっていないか確認する。 ・ゴミの混入やホコリの付着、不良品がないか確認する。 ○組み立て作業 <ul style="list-style-type: none"> ・正確な組み立てを行うと共に、多く仕上げていく。 ・床に落とすことやゴミの混入がないよう適量の材料補充を行う。 ・準備、片付けを自主的に行う。 ○確認作業 <ul style="list-style-type: none"> ・正確な組み立てができているか、汚れや不良品がないか、ごみ等が付着していないか再確認する。 ・最終確認、数量、袋詰めに関しては、必ず職員が行う。 ○清掃 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミやホコリの混入がないよう作業開始前には机を拭き、終了時には机拭きと掃除機がけを行う。 ○運動 <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング（園庭、ドイツ村公園）足漕ぎペダル ・運動前後に足浴器を使用し血流改善やリラクゼーションする。 ○音楽 <ul style="list-style-type: none"> ・リラックスして作業に取り組めるよう音楽をBGMとして流す。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい材料の納品を心待ちにして、作業に対して意欲的である。 ・利用者の方も材料の汚れや不良品を理解し、気がつけば選別する。 ・能力に応じて、出来る工程に取り組みながら細かい作業が苦手な利用者の方も積極的に挑戦し、取り組む姿が見られている。 ・作業の間にウォーキングや足浴を行い、身心のリフレッシュを図る。

◎ 園芸

実習地での野菜や花の植え付け、栽培、収穫を支援員と一緒にいき、収穫物は施設内等で販売しました。また、収穫した野菜を使って調理実習等を実施しました。

参加者	男性 8名
支援内容及びプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ○園芸作業 <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備、耕運、畝作り、マルチ掛け、施肥、支柱立て、水やり、堆肥作り ・除草、生育期管理、収穫 ・種まき、植え付け（ピーマン、茄子、オクラ、シシトウ、サツマイモ、水菜、ホウレン草、春菊、スナップエンドウ、タマネギ、ジャガイモ）

	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇の管理（除草、水やり、施肥、移植） ・種まき、植え付け（百日草、ひまわり、八重矢車草） ○屋外活動 <ul style="list-style-type: none"> ・園外歩行、樹木の剪定、園庭環境整備、地域清掃活動 ○屋内活動 <ul style="list-style-type: none"> ・収穫物の調理、エコバック作り
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方の得意な分野を活かし、意欲的に活動参加ができるよう支援を行った。 ・野菜の苗・種を利用者の方と一緒に購入することから始め、全ての工程において参加をしてみんなで力を合わせて野菜を育て、達成感を味わってもらえるよう支援を行った。 ・コンポストを実習地に設置し、堆肥を自作して野菜の栽培に活用した。 ・収穫した旬の野菜は、支援員と一緒に調理し、おやつの時間などに利用者全員に美味しく食べてもらうことができた。 ・近隣の保育園児との交流は、じゃがいも掘りは夏場の気温の影響もあり実施には至らず、後日掘った物をお届けした。サツマイモ掘りについては地域の保育園と交流会を実施し、雨天のため中止となった保育園には後日お届けした。

◎ 加工

近隣の野山や川原、沿道で採取した材料を中心に加工して、「よもぎ」、「どくだみ」、「みかん」の入浴剤づくりに取り組みました。

参加者	男性7名、女性1名
支援内容及びプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ○ よもぎ入浴剤づくり <ul style="list-style-type: none"> ・よもぎ採取、天日干し、陰干し ・裁断、天日干し ・選別、粉碎 ・計量、パック詰め、シーリング（口止め）、袋詰め ・外装、カード印刷 ○ どくだみ入浴剤づくり <ul style="list-style-type: none"> ・どくだみの採取、陰干し ・裁断、乾燥、粉碎 ・計量、パック詰め、シーリング（口止め）、袋詰め ・外装、ラベル印刷 ○ みかん入浴剤づくり <ul style="list-style-type: none"> ・果皮を乾燥し粉碎 ○ ウォーキング <ul style="list-style-type: none"> ・材料採取を兼ねて近隣を歩いた。 （板東谷川、ドイツ村公園、リュウネの森など）
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの利用者の方が入浴作りの多くの工程に取り組むことにより、技術の習得と意欲の向上を支援した。 ・生産した入浴剤は、「道の駅」「夢工房」で販売するとともに、自治会への提供も行った。 ・新型コロナウイルスも収束傾向にあったため、各種バザーでの販売を行った。

◎総合生活支援

地域交流センター多目的ホールを利用し、利用者一人ひとりの能力や体調に配慮しながら目標に応じた支援を行いました。

参加者	男性14名、女性3名
支援内容及びプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ○ 屋外活動 <ul style="list-style-type: none"> ・歩行……ドイツ村公園、ドイツ館、大麻比古神社、板東谷川堤防、リュウネの森、極楽寺、ばんどうの鐘、菩提樹の森、 ・ドライブ…ウチノ海公園、鳴門スカイライン、小松海岸、月見ヶ丘海浜公園 ○ 屋内活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ホール内歩行、階段昇降、ラジオ体操、マッサージ、ストレッチ、キャッチボール等を使用した身体活動 ・各種教材……ペグ、ブロック、パズル、文字書き、国旗カード、絵描き、塗り絵、シールはがし等 ○ 生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ・身支度……靴、帽子、上着の着脱、整理整頓、収納 ・清潔……手洗い、消毒、着替え ・排泄……排泄の支援と記録 ・環境整備……活動の準備、片付け、清掃
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外活動では、脚力の維持や強化を目標として、長距離歩行や山道コース等の歩行を積極的に実施した。また各利用者の健康状態や気候などに配慮しながら、短距離歩行や、ドライブなども実施する。夏場は歩行から帰園時に、アイスを食べること熱中予防と共に利用者の楽しみとした。 ・四季を感じながら運動できるように取り組んだ。 ・屋内活動では、ホール内歩行、ストレッチ、キャッチボール等の軽運動を行い、体力や健康維持に努めた。また利用者ごとに応じたペグやパズル、文字書き等の活動を提供して個別支援を行った。その際パーテーションや個別の机を使用することで、落ち着いて取り組める空間を用意した。

◎なごみ

コロナ感染予防の為、人と人の距離が広く取れる食堂で様々な活動内容を用意し、得意なことに取り組めるようにしています。

参加者	男性7名、女性5名
支援内容及びプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ○屋内活動（各種教材） <ul style="list-style-type: none"> ・ペグ、ブロックつなぎ、パズル、文字書き、ビーズ通し、絵画、塗り絵、音楽鑑賞等 ○編み物（リリアン） <ul style="list-style-type: none"> ・毛糸の色を選ぶ。 ・編み目を数えて作る。 ・編み目を落とさないように編む。 ○運動 <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング（園庭、ドイツ村公園、ドイツ館） ・室内歩行、階段昇降、ペダル漕ぎ ・機能訓練体操 ○足浴 <ul style="list-style-type: none"> ・血流改善やリラクゼーションを図る。

	<p>○造花作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちぎり作業、組み立て作業を行う。 <p>○各展示会の見学 (エナジー展、鳴門市文化展)</p> <p>○動画視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを用いてYouTubeで利用者の方が興味のある動画を視聴。 ・認知予防のため、昭和時代の歌謡曲や映像を用いて昔の思い出を思い起こすことで気持ちの安定やコミュニケーションの活性化を図る。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の得意なことや興味あることに集中して取り組むことが出来た。 ・園外歩行や機能訓練体操をすることで気分転換や健康維持を図る。また、足浴器や足漕ぎペダルを導入し健康増進に努める。 ・エナジー展等に共同作品を出展することが出来た。活動に熱心に取り組むことが出来ており、今後も個々の長所を活かして活動が出来るよう支援する。 ・人と人との距離を取り、定期的な換気や消毒を行い、新型コロナウイルス感染予防に努めた。また、日光浴を行い、免疫力を高めることに努める。

◎ 作業工賃の支給

作業収益金は全額還元を原則としています。今年度は2,400円を全利用者に支給しました。

(4) 文化・サークル活動

今年度は、新型コロナウイルス感染症も収束傾向にあったため、外部講師に来園してもらいお茶お花のサークル活動を実施しました。絵画については園内での作品を制作し、作品展に出展をしました。調理、音楽活動についても感染症対策を行いながらの実施でありましたが、利用者の方はサークル活動を楽しまれました。

◎習 字

季節に合わせた言葉等を利用者の方の個性を活かした字体で書いて楽しんでいます。園内に掲示して、他の利用者の方に見てもらい、開催される各作品展等の出展に向けて、支援員と一緒に習字の練習に取り組みました。

参加者	男性1名、女性2名、希望者
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・準備、後始末の方法 ・正しい姿勢と筆の持ち方 ・筆の扱い方 ・漢字の読み方、筆順 ・字形の取り方
評 価	個性を生かした字体の作品を書く習字を行っている。季節の言葉や好きな食べ物など、利用者の方の思いの言葉や文字にした字体は味があり躍動感あふれた作品となっている。作品は各種作品展等に出展している。一人ひとりの名前の落款印を作品に押している。

◎ 絵 画

月2回、木曜日の午前中に町内の絵画教室に通い、水彩画を中心にパステル画、アクリル画などを描いています。

指導者	河野 公子氏
参加者	男性5名 女性1名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・画題 静物（花、野菜、果物、置物など） 抽象画 人物画 模写（画集や絵本、写真を見て描く） ・発表の場 エナジー展、鳴門市展、大麻町文化展、鳴門市人権文化祭など。 ・大麻町地域の文化展見学。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方の個性を尊重した指導で、のびのびと楽しく個性豊かな作品が描けている。コロナ感染症対策として、サークル活動の自粛があり、お休みする期間が長くなり2回だけの活動となった。 ・園内で工夫をして絵を描く機会を作り、園内掲示板で披露して楽しんでもらった。 ・コロナ禍で展覧会見学に出かけることが少なくなり、他者の作品を観ることが出来ず残念であった。

◎ 調理実習・おやつ作り

9名のメンバーが調理実習とおやつ作りのグループに分かれて、調理を行い、作った料理を楽しみました。

季節や行事に合わせて、手作りおやつを手作りし、盛り付けをして、利用者の方全員に食べていただきました。

参加者	男性4名 女性5名
内 容	<p>5月 (献 立) おにぎり・カレーうどん・ポテトサラダ・アイスクリーム</p> <p>6月 (献 立) モダン焼き・サラダ・コーヒーゼリー 梅シロップ作り (おやつ) 人参の焼きドーナツ</p> <p>8月 (おやつ) 梅シロップかけかき氷</p> <p>9月 (おやつ) さつまいもケーキ (献 立) おにぎり・カレー鍋・アイスクリーム</p> <p>11月 (献 立) とんこつ鍋・コーヒーゼリー</p> <p>12月 (おやつ) クリスマスパウンドケーキ (献 立) ピザトースト・ハンバーグ・スープ</p> <p>1月 (献 立) カツカレー・ツナサラダ・コーヒーゼリー (献 立) 手作りパン・クリームシチュー・わらび餅風 (おやつ) 紫いもチップス・紫いもパイ</p> <p>2月 (おやつ) バレンタインチョコラスク</p>

評 価	<p>昨年度に引き続き、梅シロップ作りをした。食紅で色付けすることで視覚からも分かりやすくした梅シロップをかき氷にかけ、利用者の方に提供した。その他にも、保護者から頂いた野菜や園内にて収穫した野菜を使用しておやつを作り、利用者の方全員に食べてもらう機会を多くした。</p> <p>感染症対策に配慮しながら、利用者の方の希望するメニューを調理し、他の利用者を招待することで楽しい食事の時間を過ごすことが出来た。</p>
-----	--

◎生花

月に1～2回、木曜日にボランティアの先生のご指導を受け、楽しみながら生花を行いました。

指導者	坂東良子氏
参加者	男性2名（1名は日替わりで参加している） 女性1名
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1, 準備（花器、花ばさみ、筆記用具等） 2, 組花、花器の選択 3, 挨拶 4, 花を生ける（はさみの使い方を知る、花の高さや位置を考える） 5, 復習（花の名前の筆記、生けた花の筆記） 6, 片付け、清掃 7, 挨拶、終了
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの先生のご指導をもとに、個々の感性を活かし生花をしている。四季折々の花材で園内を華やかに飾り他の利用者楽しんでもらうことができた。 ・高齢で認知機能が衰えていた利用者の方が生花の時はしっかりと花を生けることができていた。

◎茶道

月1～2回、木曜日にボランティアの先生のご指導を受け茶道のお稽古を行っています。

指導者	坂東良子氏
参加者	男性1名 女性4名
内 容	<p>立礼式で行う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 席入り（おじぎの仕方、歩き方） 2, 挨拶 3, 略式盆点前のお稽古 4, ふくささばき 5, なつめの扱い方 6, お茶の点て方 7, お菓子の頂き方 8, 薄茶の頂き方 9, 退室（おじぎの仕方、立ち方、歩き方） <p>＜お茶会＞ 11月 紅葉のお茶会 1月 新年のお茶会</p>

評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防のため、1年以上休んでいたが、何回かお稽古を行い作法を思い出すことができた。 ・久しぶりにお茶会を行うが、それぞれが出来る事を協力し合って他の利用者の方にお饅頭とお抹茶をふるまうことができた。
-----	--

◎音楽活動

音楽に親しみ、活動を通して安心できる時間を共有しながら、皆さんのニーズに応じて実施しています。

参加者	全利用者を対象とし、1回のセッションで10～20名の利用者が参加。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・1回のセッションは1時間程度 ・季節にあった歌や曲を選び、利用者の好きな曲を中心に、懐メロやリラクゼーション曲を使用しプログラムを構成する。 ・使用している楽器や道具 楽器…鈴、帽子、タンバリン、太鼓、バチ その他の道具…フラップバルーン、チューブ、スカーフ、ボール、クールダウンに使用…シャボン玉、レインスティック ・うたをうたう ・四国大学音楽科・療法実習での音楽セッション
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの表情や動きを見ながらプログラムを進めていき、歌をうたったり、楽器を鳴らしたりすることで、身心の健康を高められるように実施していった。人数や場所に変化を持たせていき、参加者同士で音楽を共有しながらリラックスできる時間が持てている。

○ 年間行事等への参加状況 新型コロナウイルスの影響でイベントへの参加が減少しました。

月別	行 事 名		
4月	・開園記念昼食会	・お花見	
5月	・鳴門市文化展		
6月	・淡路島一泊旅行	・香川県一泊旅行	・ジャガイモ掘り交流会
7月	・七夕	・一泊キャンプ	
8月	・月見のお茶会	・サマーフェスタ	
9月	・芸術家派遣 (和太鼓)		
10月	・エナジー展	・サツマイモ掘り交流会	
11月	・鳴門市人権文化祭	・鳴門市人権フェスティバル	・大麻町文化展
12月	・クリスマス食事会		
1月	・新年のお茶会		
2月	・節分(豆まき)	・徳島市障がい者福祉展	
3月	・ひなまつり	・一年のまとめ (ふれあい昼食会)	

2. 施設入所支援 (夜間、休日支援)

新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたため、元の生活に戻しつつ感染症対策も行いながら、より安全で快適な環境の提供に努めました。また、集団生活の秩序を維持しながら、より安全で快適な環境の提供に努めました。また、可能な限り利用者の方の意思を尊重し、安心してゆとりのある生活ができるように配慮しました。感染症対策を行いながら密にならない食事・入浴支援を行い安全な移動、プライバシーに配慮した排泄、快適な環境等、年齢や障がい特性に考慮した日常生活上の支援を行いました。また、夜間においては、十分な睡眠がとれるようやすらぎの空間を確保するとともに、利用者の方の心身の変化にも細心の注意を払いました。また、感染症予防のため適宜に換気・消毒、朝晩の水分補給を行い冬季は加湿器の設置し環境を整えました。

(1) 日課

〈平日〉

	6:30	7:40	8:30	9:45		16:30	17:40		21:00		
就 寝	起床・ 支度	朝 食	職員 朝食 ふれ あい	生活介護 (日中活動支援)	清 掃	ふ れ あ い	夕 食	自 由 時 間	テ ィ ー タ イ ム	自 由 時 間	消 灯 就 寝

〈休日〉

	6:30	7:40		9:45		12:00		15:00		17:40		21:00	
就寝	起床・支度	朝食	ふれあい 自由時間	職員朝会	自由時間	昼食	自由時間	ティータイム 清掃	自由時間	夕食	自由時間	ティータイム 自由時間	消灯 就寝

(2) ゆとりある生活のための支援

① 食事

毎日の食事は利用者の方を3グループに分けて、感染症対策を行いながらゆとりのある空間で落ち着いて食事ができるよう配慮しています。

② ゆとりとやすらぎ

〈1〉かたらい

毎週土曜日、男性2名または女性2名の方が本人の希望により、「かたらい」を実施しています。

午後9:00～午後11:00までの間、談話室を利用しテレビを見たり、事前に購入した飲み物やお菓子を飲食したりする楽しいひとときを過ごしています。

〈2〉やすらぎティータイム

毎月1回、午後におやつとお茶のティータイムを設けています。利用者の方が食べたいおやつを買ったり、手作りのおやつを用意したりしてティータイムを行っています。当日は、好きな飲み物を入れ、テレビを見たり音楽を聴きながらゆったりとしたひとときを楽しんでいます。

〈3〉誕生会

毎月、ケーキや飲物を準備し、その月の誕生日の利用者の方をお祝いする誕生会をしています。今年度は感染症予防で密にならないよう配慮し実施しました。

〈4〉余暇の提供

個々の希望に応じた雑誌やDVD、CD、パズル、塗り絵などを購入して余暇時間を過ごしています。また、録画したTV番組を見たりして充実した余暇が過ごせるよう配慮しました。それぞれの方が楽しめるような内容の余暇を考え、提供しています。

(2) 社会性を広げるための支援

○ 余暇活動

利用者の方の希望をききながら、外出を計画しました。

参加者	利用者49名
内容	※回数・参加人数(延べ数) ・ドライブ……13回、57名 ・ショッピング……16回、50名 ・喫茶、食事…45回、163名 ・その他………25回、71名
評価	感染症も収束傾向にあり、感染症予防を行いながら、ショッピングや外食を中心に利用者の方から希望を取り実施した。利用者の方も外出先ではいつもと違った表情、一面を見せて楽しまれていた。今後も利用者の方の希望や目的に沿った外出を実施していきたい。

3. 健康管理と保健指導

日々の検温と日常生活の観察を通して、個々の健康状態の把握に努めました。

日常的な感染予防対策として、手洗い・うがい・手指消毒・棟内消毒清掃を実施することでインフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルスなど感染症の予防、蔓延防止に努めました。

(1) 健康診断の実施

健康診断、各種検診を計画、実施し、疾病の早期発見に努めました。

また、口腔の不衛生により、様々な疾病や感染症などにもつながっていくこともあるので、口腔ケアの必要性・重要性を考え、定期的な歯科検診・歯科医師会による診療の巡回健診、歯科衛生士によるブラッシング指導を実施しました。

(2) 各疾病の治療

慢性疾患の利用者の方については、定期的を受診し検査を受ける事で、疾病の状況を把握することができています。医師による生活指導や医療相談を通し、協力医とスムーズに連携を図ることができました。

(3) 環境衛生と保健指導

日頃からの手洗い・うがい・手指消毒の励行に努め、常にマスクの着用を行っています。(一部着用困難な利用者を除く。) また、園内外・居室の清掃や消毒、季節に応じた衣類交換、寝具干し等、基本的な日常生活の環境衛生を心がけました。

(4) 生活習慣病対策

定期的に体重測定や血圧測定、Spo2測定を行い、また、必要に応じて血液検査を受ける事により、健康状態を把握し、医師や栄養士と相談・指導の下、生活習慣病の予防に努めました。

(5) 加齢に伴う機能低下について

食事の際、嚥下に問題がある利用者の方については食事形態を変更するなどして、むせる事が少しでも減らせるように考えました。

(6) 保護者との連携

継続的に服用中の内服変更時は、速やかに情報提供を行い、理解が得られるように努めています。場合によっては、協力医から直接説明をしてもらう事もあります。抜歯・検査等については、保護者に早急に連絡を取り、事情を説明して了承を得る事ができました。

○月別通院状況

月別 科	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
内 科	23	21	30	21	26	26	26	17	18	17	21	58	304
精神・神経科					2			1					3
外 科	1	2							2				5
整形外科	2	2	1	3	1		3	3				4	19
耳鼻咽喉科		2		2	1	1		1	1	6		1	15
歯 科	17	22	16	19	21	5	23	14	9	19	19	15	199
婦 人 科													
眼 科	5	3		3	1	1			1	1			15
皮 膚 科		1	1	4		2	6	3	1	3	1	1	23
泌尿器科	3		3			2			4	1		9	22
そ の 他	1	1	3	3	1	2	3	1	1	3			19
計	52	54	38	39	22	39	48	40	37	33	32	88	624

○月別保健活動

4月	園内検診	10月	園内検診
	細菌検査		細菌検査
	棟内消毒		棟内消毒
	リハビリ機能訓練		リハビリ機能訓練
5月	園内検診	11月	ブラッシング指導
	細菌検査		エアコン清掃
	棟内消毒		園内検診
	害虫駆除 (みのり棟・のぞみ棟)		細菌検査
	リハビリ機能訓練		インフルエンザワクチン接種
6月	園内検診	12月	6回目コロナワクチン接種
	細菌検査		ブラッシング指導
	健康診断		棟内消毒
	眼科検診	1月	園内検診
	皮膚科検診		細菌検査
	害虫駆除(むつみ棟)		棟内消毒
リハビリ機能訓練	2月	園内検診	
7月		園内検診	細菌検査
		歯科検診	棟内消毒
		細菌検査	リハビリ機能訓練
		棟内消毒	園内検診
	リハビリ機能訓練	細菌検査	
8月	園内検診	3月	厨房害虫駆除
	棟内消毒		リハビリ機能訓練
	リハビリ機能訓練		棟内消毒
	細菌検査		園内検診
9月	園内検診	3月	リハビリ機能訓練
	棟内消毒		棟内消毒
	リハビリ機能訓練		細菌検査
	細菌検査		

○入院治療

医療機関名	病名	入院期間
南海病院	てんかん発作疑いのため検査入院	R5.7/28~8/22
南海病院	適応障害	R5.8/23~11/21

4. 栄養管理と食生活

利用者の方の身体状況や生活習慣等を把握し、栄養状態の維持や改善を図りながら、これらに考慮した食事の提供と栄養管理ができるように努めました。

(1) 献立作成

利用者の方の嗜好に合わせてながら季節感や彩りを考慮し、適切なエネルギー量及び不足しがちな各種栄養素を強化した献立を給食委託業者と共に作成しました。

また、献立名や主な栄養成分を記載した献立表を掲示して、食に関する情報を利用者の方へ提供しました。

(2) 調理業務と食材の管理

調理開始時間や調理器具、食材の検収、保存食等の管理を正確に実施し、給食委託業者との日々の連絡を密にしながら安心して安全な調理業務を依頼しました。

(3) 衛生管理

食中毒等の給食事故防止のため、調理従事者の衛生意識の向上や拭き取り検査、厨房内外の衛生管理を徹底し、衛生管理マニュアルに基づいた点検表の記録の整備も確実に行いました。

(4) 食事環境

感染症対策をした上で、少人数での食事が食堂で摂取できるよう工夫し、ゆっくりとした環境の中で楽しみながら温かい食事が摂れるよう配慮しました。

(5) 食事委員会

他職種と給食委託業者を交えた食事委員会を開催し、食事に関する諸問題を検討・改善し、食環境を整備しました。また、利用者の方の希望を取り入れた、毎月のバイキング、おやつなどの提供、またきせつに応じた行事食等を実施し、食事が楽しみになる機会を増やしました。

(6) 栄養ケアマネジメント

医師の指示による食事箋を基にした療養食や、個々のニーズに応じて食事の量の調整やアレルギー食、咀嚼・嚥下等口腔機能に合わせた食事形態やトロミ食、介助器具等、身体状況・栄養状況や特性を理解し、他職種と協働しながら栄養ケア計画に基づき、栄養管理と食事支援をすることで、利用者の方の食生活の質の向上に努めました。

令和5年度・栄養価算定表（月別）

月	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	レチノール活性当量	VB1	VB2	VC	食塩	炭E比	脂E比	動蛋白比
	kcal	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g	%	%	%
4	1892	76.4	55.8	639	13.1	848	2.00	1.15	123	9.2	57.3	26.5	53.1
5	1865	75.3	54.9	645	11.9	845	2.08	1.13	114	8.9	54.7	26.5	53.1
6	1852	76.5	51.8	632	12.8	770	2.04	1.13	113	8.6	58.3	25.2	53.3
7	1866	76.4	53.1	631	12.8	839	2.00	1.16	113	8.6	58.0	25.6	54.6
8	1851	75.9	53.3	626	13.4	761	2.04	1.15	114	8.6	57.7	25.9	53.8
9	1876	75.8	53.9	662	12.6	770	2.04	1.17	118	8.8	58.0	25.9	52.6
10	1829	73.5	51.0	619	12.2	777	2.05	1.14	106	9.1	58.8	25.1	53.5
11	1866	76.3	52.4	671	12.7	834	2.06	1.15	120	8.8	58.4	25.3	51.8
12	1837	74.5	52.0	635	12.2	724	1.95	1.14	124	8.8	58.3	25.5	54.2
1	1883	75.5	54.9	614	12.9	730	1.98	1.09	111	9.1	57.7	26.2	53.4
2	1864	77.1	54.4	630	11.7	753	2.00	1.16	113	8.9	57.2	26.3	53.8
3	1847	75.7	53.6	628	12.3	795	2.00	1.12	108	8.8	57.5	26.1	54.6
合計	22328	908.9	641.1	7632	150.6	9446	24.24	13.96	1377	106.2	694.6	310.1	641.8
平均	1861	75.7	53.4	636	12.6	787	2.02	1.14	115	8.9	57.6	25.8	53.5

令和5年度・摂取食品量（月別）

食品群名		月												合計	平均
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
穀類	米	211	213	207	212	206	209	210	206	202	209	202	210	2497	208
	パン	16	12	20	17	16	16	15	16	14	16	23	16	197	16
	穀類	8	14	25	24	22	23	16	29	21	25	20	19	246	21
	他・穀類	7	6	6	7	7	7	6	5	6	7	7	5	76	6
芋類	さつまいも	12	7	12	9	11	13	10	17	14	4	11	7	127	11
	じゃがいも	26	35	26	26	26	22	23	31	26	25	25	29	320	27
	他の芋類	24	27	26	21	30	29	32	27	29	37	31	26	339	28
	芋加工品	4	4	3	3	3	2	3	3	2	2	2	2	33	2
豆類	大豆製品	53	63	50	57	61	59	56	68	40	53	48	45	653	54
	他の豆類	5	6	4	5	7	5	5	8	6	6	8	6	71	6
	みそ	20	18	20	18	19	18	18	19	18	18	19	18	223	19
野菜・果実類	緑黄野菜	172	171	162	168	157	164	157	164	142	147	149	149	1902	159
	他の野菜	239	254	248	258	245	258	249	242	250	238	252	262	2995	250
	乾燥野菜	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1
	つけもの	6	7	5	5	7	4	6	4	7	8	7	6	72	6
	柑橘類	15	14	8	10	10	11	18	29	26	21	14	15	191	16
	他の果実類	20	20	19	28	23	22	19	18	22	22	17	20	250	21
	加工品	19	6	8	7	23	7	11	6	17	16	7	4	131	11
	きのこ類	18	21	20	13	16	24	20	18	18	14	18	15	215	18
動物性食品	藻類	4	4	7	4	7	5	5	6	5	6	5	4	62	5
	魚介類	50	48	45	49	53	54	50	47	54	43	55	48	597	50
	干・缶・塩	8	5	8	14	11	6	6	8	7	10	7	11	101	8
	練り製品	15	15	14	20	15	14	19	15	17	18	19	15	196	16
	肉類	76	83	80	72	27	70	72	65	69	76	73	75	884	74
	加工品	12	10	10	10	6	10	7	10	11	12	8	11	117	10
	卵類	29	26	24	29	27	29	28	30	29	28	32	27	338	28
	牛乳	204	204	211	201	204	207	203	209	208	190	209	206	2456	205
油脂類	乳製品	6	6	5	7	10	9	4	6	7	6	6	7	79	7
	砂糖	7	7	6	7	6	7	8	8	8	9	8	7	89	7
	種実類	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	141	1
	油脂類	7	7	6	7	7	5	6	5	6	6	6	6	74	6

5. 地域交流

施設と地域との交流を推進して、利用者の方の生活水準の向上及び安定に努め、施設のサービス機能の提供と充実をはかり地域貢献に努めました。地域の学校や各種団体との交流については、新型コロナウイルス感染症対策により大幅な中止となりました。

- (1) ボランティアの導入
 - 各種の技術・技能の指導援助を受けています。
 - 茶道・生け花 (第2・第4木曜日)
 - 絵画 (月2回)
 - (コロナにより未実施期間あり)
- (2) 利用者の方による社会活動及び地域行事への参加
 - ドイツ兵慰霊碑の清掃奉仕、ゴミ拾い
 - 近隣道路の除草・ゴミ拾い
 - (その他については新型コロナウイルス感染症対策により中止)
- (4) 福祉教育の推進
 - (新型コロナウイルス感染症対策により中止)

6. 危機管理と防災対策

消防法や関係諸法令に基づき、しあわせの里消防計画、しあわせの里地震防災応急計画等を策定し、大規模災害や事故等から利用者の方及び職員の生命を守るため各種防災訓練を実施しました。

また、災害や事故を未然に防ぐように、建物・消防設備の自主点検や専門業者による保守点検や修繕に努めました。

大規模災害時における事業を継続するための計画として「しあわせの里事業継続計画」に基づき、緊急時の対応方法等について全職員に周知、防災意識の向上に努めました。

(1) 危機管理

①事故等の発生について、事故報告書を作成し、発生状況や要因、対応結果等について分析、必要に応じて改善や業務の見直しを図りました。

②ヒヤリハット報告については、事故等の発生には至らなかったが、事故になる確率が高く、原因等について周知することでヒューマンエラーを少なくするようにしました。

(2) 防犯対策

夜間、休日等に定期的に巡回を実施し、防犯カメラ等の設備と併せて不審者等への対応を図りました。

(3) 防災対策

①防災訓練の実施

主に火災を想定した訓練を実施しましたが、出火場所や発生時間について異なった想定をすることで、より実効性のある訓練に努めました。あわせて非常通報装置を使用した通報訓練、救護訓練、消火訓練を含めた総合訓練を行いました。

鳴門市消防本部職員の派遣を依頼し、訓練内容や防災の心構えなどについてお話をいただきました。地震対応訓練では、緊急地震速報を音源にして、安全姿勢の保持、安全な場所への移動について、利用者の方や職員が再確認しながら実施しました。

月別	訓練内容	月別	訓練内容
4月	避難	10月	避難
5月	避難(休日想定)	11月	避難
6月	避難(浸水想定)	12月	総合(通報・消火)
7月	避難(夜間想定)	1月	避難(夜間想定)
8月	避難	2月	総合(通報・消火)
9月	総合(通報・避難・救護)	3月	避難(地震)

②定期点検の実施

消防用設備及び非常通報装置、パッケージ型自動消火設備は保守点検契約業者による定期点検を行い、不良箇所があった場合には取替等を行いました。

また、月1回建物内外の安全点検と消防用設備等の自主点検を職員が行うことで、機能や操作方法について習得を図りました。

③防災教育の推進

年度当初に安全対策、防災計画等に関する文書を全職員に配布し、周知徹底を図るとともに、防災意識の向上に努めました。

防災に関する研修会はZ o o mによる web 研修に参加し、知識の向上に向けて取り組みました。

④地震対策

地震発生時の事故を防止するため、各居室の家具固定や安全に避難できるよう避難経路の確保について対応を図りました。また、被災した際に適切な対応ができるよう生活用品や食料等の備蓄品、非常自家発電設備等の整備、点検、交換を行いました。ライフラインの途絶した場合を想定した、炊き出し訓練や各種機器の操作方法について実践を行いました。

⑤感染症対策

新型コロナウイルス対策について、行政からの情報を周知し、施設内の清掃、消毒、利用者の方へマスク着用、手洗い、手指消毒を日々行い、予防に努めました。

また、各種情報を参考に新型コロナウイルス感染症マニュアルを作成し職員に周知、保護者等への協力依頼、新型コロナウイルス感染予防対策用品備蓄庫を設置し、棟内3ヶ所に備蓄置場を設置、体制の強化に努めました。

⑥BCP（事業継続計画）について

直接的に被災した場合やライフラインの途絶により業務に支障をきたし、施設機能が十分に活用できない場合に備えて、影響を最小限に抑えて、速やかに業務が復旧できるよう必要に応じて、BCPの見直しを行ない、改善点・変更点のある場合は都度職員に周知しました。

7. 保護者との連携

保護者と施設が連携し、相互の理解を深め、利用者の方の立場に立った支援を行うよう努力しました。

(1) 月刊広報誌の発行

毎月「しあわせ」を発行し、利用者の方の生活、活動状況、行事等について周知しました。

(2) 家族会の開催

今年度5月、7月、11月、1月、3月の5回、実施しました。

○家族会参加状況

出席状況	月別	5月	7月	11月	1月	3月
出席者数		31名	29名	28名	22名	32名

(3) 施設行事への協賛

① サマーフェスタ（8月）

② ふれあい昼食会（3月）

(4) 家族会単独事業の実施

園内清掃（5月29日、8月28日、11月2日、2月16日 外部業者委託）

Ⅲ 職員の資質の向上と職員研修

支援員としての専門的な知識の獲得に努めました。利用者の方の重度高齢化による認知機能や身体機能の低下を予防するため、より専門的な機能訓練や認知症予防について研修を行いスキルアップに取り組みました。また、新型コロナウイルスをはじめとする感染症発生時の対応方法について研修。身体拘束適正化研修を実施し、新人職員研修では先輩職員からの話やコミュニケーションをとる機会を作ることで虐待防止に向けた業務の向き合い方や、働きやすい職場環境づくりに対しても取り組んでいきました。今年度より各職員が好きな時間に、知りたい内容について WEB（サポーターズカレッジ）を利用して学べる環境を用意しました。

また、各種実習の受け入れも行っており、社会福祉に貢献できるよう努めました。

各種機関が主催する研修会については WEB 研修や会場に出向いての研修にも参加しました。

1、職員研修

(1) 園内研修

- ・災害時炊き出し研修
- ・機能訓練研修（2回実施）
- ・身体拘束適正化研修
- ・障がい者の認知症について
- ・園内感染症発生時の対応について
- ・新人職員研修
- ・災害時対応研修
- ・虐待防止研修
- ・WEB 動画によるオンライン研修

(2) 園外研修

- ・徳島県社会福祉協議会、徳島県知的障害者福祉協会及び近隣施設や県外などの各種機関が主催する研修会への参加

2、施設実習

- ・鴨島支援学校、四国大学（保育、音楽）

Ⅳ. 短期入所事業利用者に対する支援と活動

短期入所事業について、日中生活介護を利用されている方の保護者が、家庭等の事情により夜間介護等が行えないため利用できるように体制を整え、サービス提供を行いました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用 件数・人数	2	3	3	3	2	2	0	2	4	4	0	0	25
利用実人数	1	2	2	1	1	1	0	1	1	1	0	0	11
利用日数	2	3	3	3	2	2	0	2	4	4	0	0	25

Ⅴ. 地域生活支援事業(日中一時支援事業)

支援実施市町村と業務契約を結び、日中一時支援を行いました。令和5年度中に3件の利用がありました。

「しあわせの里地域交流センター」の事業概要

「しあわせの里地域交流センター」は、利用者の方の日中活動や様々な行事、定期実施している運動教室や文化活動等に利用し、利用者の方と地域の方々との交流の場として活用されています。

地域の方々には、自治会の行事やサークル活動の場としても利用していただき、施設の持つ機能を提供することで、地域社会に貢献しています。

1、利用の状況

利用区分	延べ利用件数	延べ利用人員	主な利用内容
保護者活動	5	130	家族会
地域活動	0	0	
交流活動	0	0	
社会参加	0	0	
各種研修	3	10	四国大学施設実習 支援学校実習
各種会議	5	37	役員会等
合計	13	177	

2、広報活動

しあわせの里が発行している機関紙「しあわせ」に利用状況を掲載し、地域交流センターの活用内容について報告しました。

